

## ごあいさつ

「体操によって育まれた人たち」

日本体操学会会長 古川善夫

デンマーク体操を「人間教育」の一端とする自由学園において、「人を育む体操」をテーマに第 11 回大会が 3 日間にわたり開催されました。自由学園、学園長、矢野恭弘氏をはじめとして、組織委員長の菊池昭一郎氏、事務局の山田恵子氏のご尽力により、この貴重な 3 日間を、体操によって育まれてきた私たちは「動いて学び、学んで動く」ことができました。1 日目は幼児から大学生までの体操会を「見る」。2 日目は体操会の感動を「自由学園明日館」で交流し「支え合い」。3 日目は緑に囲まれた中で、「動いて学ぶ、学んで動く」シンポジウムや発表を「する」。



学会員を代表して心からお礼申し上げます。

### 1. 平成 23 年度日本体操学会理事会／総会報告

平成 23 年度日本体操学会理事会・総会が、10 月 10 日（月・祝日）に自由学園（東京都東久留米市）にて開催され、平成 22 年度事業報告・決算報告並びに平成 23 年度事業計画・予算案が承認された。第 12 回学会大会は平成 24 年 9 月 29 日（土）、30 日（日）の両日に北海道教育大学旭川校で開催することが決定した。体操に関する研究や会員相互の交流をより深めることを目的とした「日本体操学会公募プロジェクト」を次年度も継続して募集する。また、日本体育学会第 63 回大会（平成 24 年 8 月 22 日～24 日、東海大学湘南キャンパス）で日本体操学会のワークショップを企画することが決定した。（金子嘉徳）



## 2. 日本体操学会第11回大会報告

### 1) 基調講演 「遊び、環境、発達を取り込んだムーブメント教育」

—なぜ、運動苦手な子どもを引きつけるか—

小林芳文（和光大学現代人間学部身体環境共生学科教授  
横浜国立大学名誉教授）

小林芳文氏が、これまで取り組んでこられたムーブメント教育について、歴史も含め、理論や実践に関する丁寧な説明と現状についての紹介が行われた。子どもたちに対して、どのような環境をつくっていったらよいのか、どのような働きかけをすることが望ましいのかなど、それまで研究されてきたムーブメント教育のたくさんの実践報告に加え、実際に、会場から有志を募り、生のピアノの演奏に合わせて、実技の指導も行われた。小林芳文氏の終始温かなまなざしと穏やかな語りの中、会場の受講者は、熱心に耳を傾け、ムーブメント教育について学びを深めた。（大島林子）



### 2) シンポジウム 各ライフステージにおける「人を育む体操」

司会 古川 善夫

演者 瀬戸口清文（大妻女子大学教授 日本遊育研究所主宰）

菊池昭一郎（自由学園元教員 デンマーク体操指導者）

春山 文子（実践女子大学名誉教授 HGG 主宰）

「人を育む体操」をテーマとして、各ライフステージにおいて「体操がどのように発展、または応用されているのか」に焦点をあて、3名の体操指導者の方々にご講演いただいた。

瀬戸口清文氏は幼児を対象とした体操指導の重要なポイントを大変楽しい実技指導を交えながらお話され、「次はどうなるの？」を子どもが自ら考えられるような指導のあ



り方の重要性を提唱された。菊池昭一郎氏は、自由学園における児童・生徒を対象とした体操指導の現状についてご報告され、体育の授業は「きっかけづくり」であり、興味を持たせ日々の生活に結びつけることの大切さを強調された。また、春山文子氏は、中高齢者を対象とした体操指導について、対象者から「聞き出すこと」そして「日常と結びつけること」の工夫の必要性、重要性を自身の指導経験をもとにお話しされた。

各ご講演から、年代に応じた体操の指導内容における豊かさを感じることができた。さらに今日の社会的課題を包括しながら歩み続ける体操の可能性について、より深く考える機会となった。(檜皮貴子)



### 3) ワークショップ 「医療・福祉の分野で動きを育むー姿勢の理解ー」

講師：伊藤 亮子(理学療法士、フェルデンクライス®プラクティショナー、

自由学園・ホロップ®体操アカデミー・メダウシュール卒)

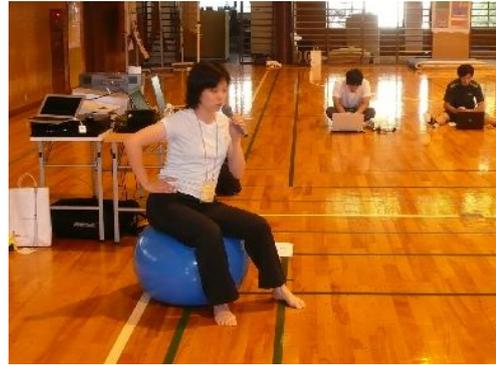
自由学園卒業生であり、機能的統合法と呼ばれるフェルデンクライスメソッドの指導者である、伊藤亮子氏には人が自分のからだにどのように気づき、動きを獲得するかを短時間でレクチャーしていただいた。

重心を感じて動くために、まず揺れる。次には、2人組で一人が四つん這いで背中を丸くし、一人は観察する。観察者は一番良く動く部分に手を当てる。手を当てられた人は意識して背中を丸くする。その後、立位で揺れると身体感覚が改善していた。これだけの動作の中で、自分の重心を感じ、動きが変わる。全身の骨格や筋肉がどのように連携して動いているのかを改めて意識できる有意義な時間であった。温かくやさしい声かけのご指導に参加者は満足していた。(吉中康子)



#### 4) 研究発表（ポスター発表、アクティブポスター発表）

記念体育館において 16 題の研究発表が行われた。これまで、口頭発表、実技実演発表、ビデオ発表など、様々な形式で研究発表がなされてきたが、日程の関係で効率よく、研究発表をしてもらうことを試みた。具体的には、初めに全ての発表者から 3 分間でその研究で伝えたい内容を紹介して（コンパクト・プレゼンテーション）、その後、ポスター発表またはアクティブポスター発表を行い、興味を持った方とさらに論議を深めるという形式で行った。そのため、ポスター前で実技や実践ができるように体育館の空間を生かしたポスター位置の設置に努めた。短時間ではあったが、学会全体で話題を共有し、ポスター前でそれぞれの研究者と情報交換の場が持てたことは有意義であった。（長谷川聖修）



#### 5) デンマーク体操実技・実演 講師：羽仁 淳氏（デンマーク体操指導者）

デンマーク体操グループ、アンセルの発表からは、背すじをずっと伸ばされ、品のある雰囲気漂わせたみなさんの姿に「真摯さ」という体操の原点を感じた。今なお、ひとつのスタイルを築き上げ、そして継続することのすばらしさがアンセルの特徴だと思った。学会最後のワークショップで羽仁淳氏ご指導のもと、一緒に活動できたことも、貴重な経験となった。全身的でリズムカルな動きの連続、心地良い一体感、まさに基本体操 Primitiv Gymnastik の体験であった。（長谷川聖修）



## 6) 公募研究

本年度より公募研究プロジェクトが開始された事を受けて、採択された2件の中間発表が行われた。1件は長谷川聖修氏が代表の、キッズ・プロジェクトの次の世代の子ども達を対象とした、学校体育の中での体づくり運動の教材開発と動画配信をテーマとした研究である。ペアによる「握手・あいさつ・有り難う」体操が発表された。もう1件は長谷川千里氏が代表の、ヘルシーメニューと体操のコンテスト形式による発表会について提案された。食と運動という健康に関する二つの要素を組み合わせることにより新しい体操人口の拡大を計るプロジェクト研究である。何れも「動画配信」「食とのコラボ」など、体操に新しい切り口を導入している。平成24年度の学会大会で発表される研究結果が楽しみである。(後藤洋子)



## 7) 交流会

学会大会に先立ち、10月9日(日)に重要文化財「明日館」において交流会が行われた。約50名の体操専門家が集い、お互いの体操に関する情報交換をしながら和やかな時間を過ごした。また、交流会中には、デンマーク体操の歴史(菊池昭一郎)や先日開催された世界体操祭ローザンヌ2011の大会動向(本谷聡)に関するプレゼンテーションがあり、最後は羽仁淳氏から体操学会関係者へ激励の挨拶を頂き、閉会した。(本谷 聡)



## 8) 特別プログラム 自由学園体操会

伝統ある自由学園の創立90周年記念体操会を見学することができた。幼児生活団の小さい人達から最高学部の大きい人達までが練習を積み重ね、「全員」が見事な演技を披露した。クライマックスの俵の発表が惜しくも完成しなかった。リーダーの「もう一回やります」に大きな歓声上がり、2回目には7段が積み上がった。発達段階に即した運動の課題によ

り積み上げられたもの、生活全体を教育の場として捉えて培われるもの、学園のポリシーが見えたような気がした。まさに体操によって育まれている人達ではないだろうか。更に OB、OG の年季が入った人達がデンマーク体操のトラディションを発表され、変わらないことの良さが伝えられた。このような機会に恵まれたことを非常に喜ばしく思う。(後藤洋子)



幼児生活団幼稚園 体操と競争 (6歳組)



体操 (初等部 1・2・3年)



男子部全員体操 (中等科・高等科)



メイポールダンス (女子部中等科1・2年 高等科1年)



卒業生体操 (男女卒業生有志 20~70代)



女子部全員体操 (中等科・高等科)



組立（男子部中等科・高等科）

最高学部全身体操（1年～4年）

## 9) 閉会式

大会組織委員長菊池昭一郎氏より、自由学園が創立 90 周年を迎えた記念の年に皆様をお迎えし、本学園の体操会をご覧いただき豊かな学びの機会を持たせたこと、さらに第 11 回学会大会が無事閉会したことへの感謝の思いが述べられた。また、学会長古川善夫氏からは、開催にあたりご配慮下さった自由学園矢野学園長へのお礼と、設立 10 年を経て新しい一歩を踏み出した学会への、今後の発展に期待を寄せる挨拶があった。

最後に、次回第 12 回大会についての案内が行われた。（開催校 北海道教育大学旭川校）2012 年 9 月 29 日（土）から 30 日（日）の予定。北海道の雄大な環境の中で、今回のテーマ「人を育む体操」に繋がる学会大会を考え準備を進めていく。次回も奮ってご参加いただきたいと思いますと呼びかけられた。

第 11 回大会が皆様のご協力を得て盛会に終えられたことに心より感謝申し上げます。（山田恵子）

